第94回 長崎大学ＦＤ実施報告書

長崎大学新任教職員ガイダンス（ウェルカムＦＤ・ＳＤ）

【目　的】（１）長崎大学が目指す教育、研究、社会貢献等に関する基本的知識を得ること。
（２）長崎大学にかかわる歴史を知ることにより、大学への理解を深めること。

【対　象】　平成24年４月以降に長崎大学に新たに赴任した教職員

【日　時】　平成25年４月２日（火）13:00～15:00　および４月３日（水）13:00～17:15

【場　所】　長崎大学（文教キャンパス、片淵キャンパス、坂本キャンパス）

【主　催】　教務委員会

【企画・運営】評価・FD教育改善専門部会、大学教育機能開発センター

【協　力】経済学部、医歯薬学総合研究科、附属図書館、熱帯医学研究所

【内　容】

４月２日（火）

第一部「長崎大学が目指すもの」

長崎大学に関する基礎知識および国立大学法人としての戦略等について紹介がなされた。

12:45～13:00　受付（事務局３階第２会議室にて）
13:00～13:15　ウォームアップ
13:15～13:20　集合写真撮影
13:20～13:25　開会の挨拶　佐久間正　理事（教学担当）
13:25～14:25　「新任教職員へのメッセージ～長崎大学の課題と展望～」　片峰茂　学長
14:25～14:55　質疑応答
14:55～15:00　閉会の挨拶と翌日の案内　山地弘起　教授（大学教育機能開発センター）

４月３日（水）

第二部　「長崎大学歴史散歩－150年をふりかえる」

２班に分かれ、長崎大学の歴史的遺構を巡るキャンパスツアー「長崎大学歴史散歩」を行った。参加者の皆と共に歩く中で、長崎大学の各キャンパスに残る歴史の流れを感じていただいた。

12:45～13:00　受付（事務局３階 第２会議室）
13:00～13:05　開会の挨拶　佐久間正　理事（教学担当）
13:05～13:15　レシーバーのチェック等・移動
13:15～14:20　文教キャンパス歴史散歩

【文教キャンパス：原爆の惨禍の跡と新制総合大学60年の象徴】【橋本健夫 学長特別補佐】
(1)三菱長崎兵器製作所の碑：文教キャンパス誕生の意味　【高橋正克 教授
(2)長崎師範学校原爆慰霊碑：学徒動員の中での犠牲　（大学教育機能開発センター】
(3)中部講堂：水産県・長崎の拠点大学としての期待を込めた寄付建物

(4)「若人」の像： 生死の瀬戸際でも人間性を失わない強靱さを願って
(5)環境科学部正門側（旧教養部建物）：時計塔と大壁画／長崎大学と学生運動・教養教育
(6) ①下村脩名誉博士顕彰記念館（薬学部）
②お薬の歴史資料館（薬学部）
【池田理恵 助教（医歯薬学総合研究科（薬））】
（休憩１０分）

14:20～14:30　バス乗車（中部講堂前）・バス移動

14:30～15:40　坂本キャンパス歴史散歩

【坂本キャンパス：生命科学の拠点であり続ける理由～150 年の経験】
(1)　近代医学史料展示室（附属図書館医学分館）　【志波原智美 主査（学術情報部】
(2)　熱帯医学ミュージアム（熱帯医学研究所）　【堀尾政博 教授（熱帯医学研究所）】
(3)　原爆医学資料展示室（原爆後障害医療研究施設２号館）　【三根眞理子 教授（核兵器廃絶研究センター）】
（休憩１０分）

15:40～16:05　バス乗車・バス移動

バスルート：　【高橋正克 教授（大学教育機能開発センター）】
坂本キャンパス→長崎駅前→国道 499 号線（五島町電停付近から左折）→長崎市立図書館（旧・新興善小学校：被爆時の長崎医科大学附属病院仮施設）→旧長崎グランドホテル→長崎県庁（医学伝習所発祥地）→築町→賑橋→公会堂前→諏訪神社前→片淵キャンパス

16:05～17:10　片淵キャンパス歴史散歩

【片淵キャンパス：キャンパスが語る一世紀の伝統】
(1)拱橋（こまねきばし）：100 年間学生が通い続けた石畳
(2)長崎高商門標：「第三高商」の誇り高い伝統の原点
(3)瓊林会館・赤レンガ倉庫：
原爆被災を免れた貴重な長崎大学の歴史的建物。同窓会の強い結束
【村田省三 教授（経済学部）】
(4)特別講演：「高商 100 年と武藤文庫」　【赤石孝次 教授（経済学部）】
(5)武藤文庫展示室（附属図書館経済学部分館）　【宮脇千幸 主査（学術情報部）】
（休憩 10 分）

17:10～17:15　閉会の挨拶　山地弘起 教授（大学教育機能開発センター）

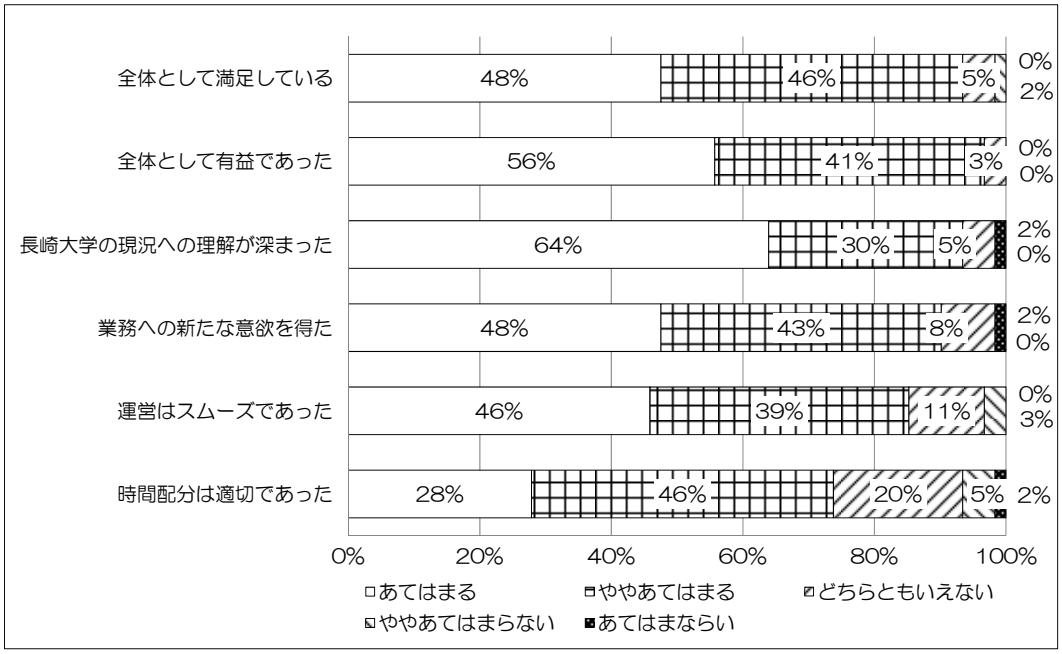
【参加者】
第一部「長崎大学が目指すもの」64 名（新規採用事務職員 15 名含む）
第二部「長崎大学歴史散歩ー150 年をふりかえる」30 名

所　属	第一部	第二部
教育学部	5	3
経済学部	10	8
医歯薬学総合研究科（医）	0	1
医歯薬学総合研究科（保）	3	3
医歯薬学総合研究科（歯）	2	2
医歯薬学総合研究科（薬）	2	0
工学研究科	5	2
水産・環境科学総合研究科（環）	2	1

所　属	第一部	第二部
熱帯医学研究所	1	0
病院	6	2
医学部医学科共同利用研究センター	1	1
先導生命科学研究支援センター	1	0
アドミッションセンター	1	1
言語教育研究センター	1	0
新学部創設準備室	2	1
事務職員	22(15)	5

※内数：新採用事務職員

【参加者からの評価】
（第一部）



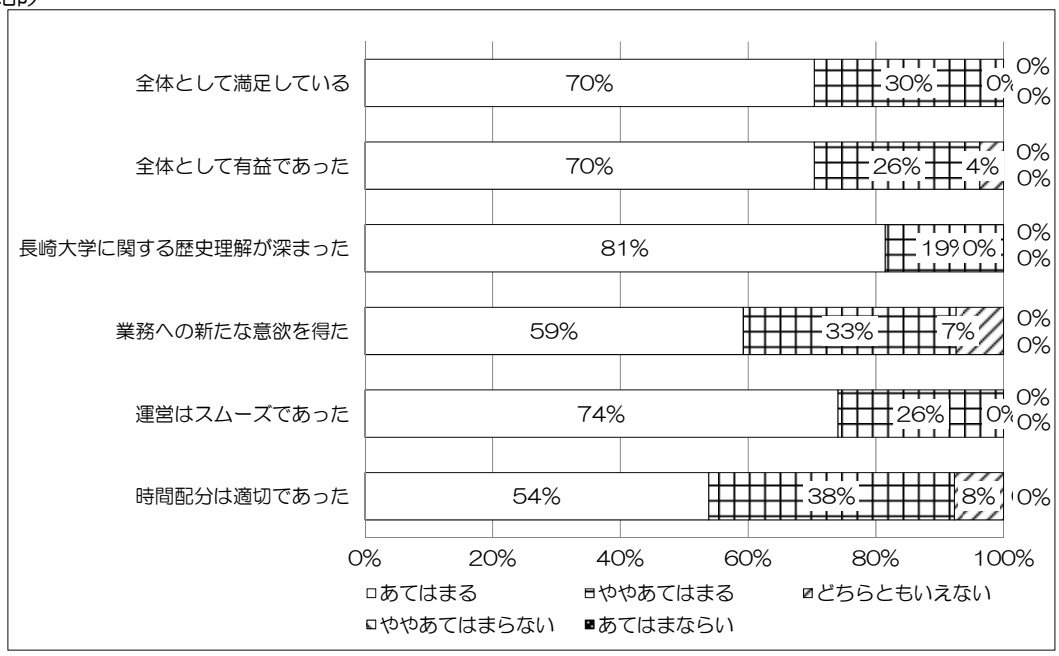
〇本日参加なさって、何か感想や意見がありましたら、ぜひ率直にご記入ください。

・内容は、大変良かった。ありがとうございました。（教育学部・准教授）
・貴重なお話をいただき、ありがとうございました。（教育学部・准教授）
・準備してくださった方々、おつかれさまでした。（教育学部・准教授）
・学長のビジョンを直接聞けるとのことで期待して参加した。話したいことが多かったようで、少し残念であった。（経済学部・准教授）
・ありがとうございました。（経済学部・助教）
・いろいろな教育改革が進められているが、その成果について知りたい。（工学研究科・教授）
・講義の資料がほしい。（工学研究科・教授）
・とても良いイベントだと思います。学長の思いを直接聞けて良かったと思う。（工学研究科・教授）
・学長の片峰先生をはじめとされる理事、役員、そして職員のみなさまから長崎大学を好きになる気持ちを頂戴した。微力ではあるが、歴史ある長崎大学の発展に寄与できるよう努めたい。とても和やかで雰囲気の良いFDに参加できてよかった。（工学研究科・准教授）
・地域にもっと長崎大学をアピールしてほしい。地域に認められなければ全国、世界に認められないと思う。（工学研究科）
・学長のお話は大変分かりやすく、いくつか疑問に思っていたことが氷解した。将来を見つめて、様々な戦略が練られていることがよく分かり、そのキーワードとして「グローバルな人材育成」が重要な目標であることが理解できた。ただ、ひとつ気になったのは、教育システムの拡充も重要であるが、グローバルな視点を育むには、やはり「百聞は一見に如かず」外の世界に触れる機会を提供することになるのではないかと感じられた。ますますの発展の一助になりたいと強く思うようになった。（医歯薬学総合研究科・准教授）
・これから始まる仕事に身の引き締まる思いがした。大変、参考・刺激になり、出席して良かった。研究・教育に邁進したいと思う。（医歯薬学総合研究科・助教）
・学長から直接大学が目指す方向と、それに対する考えを聞くことができて有意義であった。（医歯薬学総合研究科・助教）
・多方面からの分析にて、非常に興味深かった。（病院・助教）
・長崎大学の現況と学長の考えが分かり、ためになった。（先導生命科学研究支援センター・助教）
・具体的ビジョンがわかり、今後の行動の指標となりそうである。ありがとうございました。（アドミッションセンター・助教）
・学生のことについても少し話があれば理解が深まった。（新学部創設準備室・准教授）

・情報がかなり多かったため、スライドのデータが共有できると良い。（准教授）
・まだまだ長崎大学について知らないことも多いと感じた。大学で働く以上、今後の大学のあり方についてもっと考え、勉強したいと強く感じた。（財務部・事務職員）
・学長のお話を聞く機会はなかなかないので、とても有意義であった。（工学部・事務職員）
・学長の話を賜り、気持ちを新たに業務に励みたいと思いました。グローバル人材を育成するには、こちらもそれ相応の力がいると思うので、がんばりたいと思う。（事務職員）
・長崎大学が目標とすることが分かったような気がする。事務として長崎大学のために役に立てるようにしたい。（事務職員）
・長崎大学の背景や国立大学法人となって今後の展望など、とても理解しやすかったです。（事務職員）
・今後、長崎大学がどのような学生の育成を行いたいのか、どう取り組んでいるのかが分かった。

○内容面・運営面のいずれでも、何か改善を要する点にお気づきでしたら、ご記入ください。
・トイレ休憩を取ってほしい。（教育学部・准教授）
・場所が少々分かりにくかった。３階と聞いていたが、別の階段を上がってしまった。案内の紙があったようだが、分からずに通り過ぎてしまった。（教育学部・准教授）
・会場の場所が分かりづらかった。（経済学部・准教授）
・３階第２会議室へたどり着くのが大変であった。案内表示を各所につけるなど苦労されたことと思う。「2 階を長く歩いて」と案内表示等に印字していただけると他の会議でも集合がスムーズになるかと思います。（経済学部・准教授）
・各部署との日時調整をしっかりして、参加しやすいようにしてほしい。（工学研究科・教授）
・個人的に後悔していることですが、参加者の方々と連絡先を交換しておくべきであった。それを促す一声をかけてくだされば、さらに良いかと考える。（工学研究科・准教授）
・もっと学長の話、思いを聞きたかった。（工学研究科）
・人数的に難しいと思うが、少人数のグループとしてやったら良いのではないか。（病院・助教）
・プレゼン資料を配布いただけるとより理解が深まると思います。（アドミッションセンター・助教）
・グローバル社会の中で新学部の設置はすばらしいと思う。（工学部・事務職員）
・スライド下の方が見えにくかったのが残念であった。（事務職員）
・少し専門的な用語が多かったように思う。（事務職員）
・「グローバル人材」の意義があいまいに感じた。

（第二部）



○本日参加なさって、何か感想や意見がありましたら、ぜひ率直にご記入ください。

・もっと短くて良いかなと思う。後半、バテてしまいました。（教育学部・准教授）
・様々な歴史遺構を巡って、とても楽しかったですし、大変勉強にもなった。関東から来て長崎のことはあまりよく知らなかったが、長崎に非常に好感を持てた。お忙しい中、ご準備くださった先生方、本当にありがとうございました。（教育学部・准教授）
・とても勉強になった。スタッフの先生方に心より感謝いたします。（経済学部・教授）
・大変有意義で素晴らしい企画だと思う。スタッフの皆様、どうもありがとうございました。（医歯薬学総合研究科・准教授）
・ありがとうございました。良かった。（医歯薬学総合研究科・准教授）
・大満足。ツアーガイドの先生、その他のみなさんのお話が上手で、長崎のことについてもいろいろ勉強になった。（医歯薬学総合研究科・助教）
・初めて知ることが多くあり、有意義であった。（医歯薬学総合研究科・助教）
・すごく良い。やる気が出た。（工学研究科・教授）
・すばらしい見学会であった。（工学研究科・教授）
・長崎大学の貴重な資料を見ることが出来て非常に有意義だった。もっと時間が欲しかった。（環境科学部）
・資料を事前に頂けていたら自分なりの見どころを見つけられたかもしれない。教わったポイントはしっかりと残っている。（熱帯医学研究所）
・武藤先生にかかる講演が印象的で大変参考になった。教務委員会のお仕事ではなく、すでに別の部署で取り組まれているかもしれませんが、一般の方向けに同様のキャンパスツアーを開催することは、大学の社会貢献活動として意義があると思う。（研究国際部・事務職員）

○内容面・運営面のいずれでも、何か改善を要する点にお気づきでしたら、ご記入ください。

・準備、運営をしてくださった先生方、ありがとうございました。勉強になりました。（教育学部・准教授）
・大変、素晴らしかったが、時間をかけて見られたらもっと良かったなと思う。（朝から１日かけて等）（教育学部・准教授）
・どこに行っても和やかな雰囲気で気持ち良く過ごせた。（熱帯医学研究所）
・大変興味深かったようで、やや長すぎた気がした。（准教授）

【総　括】

（第一部）

昨年度までの新任教職員ガイダンスとは構成が多少異なり、第一日目は、「長崎大学が目指すもの」と題して、学長による本学紹介が行われた。その紹介は、参加者から多くの好評を得て、十分満足のいくものであった。また、本学紹介に先立って、クリッカーを用いたウォーミングアップと集合写真の撮影も行われたが、写真撮影は特に好評であった。全体的にみると、本 FD は大成功であったといってよいだろう。

以下、参加者の感想をもとに細かく見てみると、今後は、次の点に検討の余地があるように思われる。

・学長による本学紹介は、可能であれば、参加者にも印刷資料を配布するなど情報を手元で共有できれば望ましいように思われる。
・本学紹介に関する質疑応答では、（割当て時間や会場スペース等考慮する必要があるが）可能ならば、グループワーク的な活動を入れると、参加者の対話が促進され質疑応答もさらに活発になると期待される。
・事務局の第二会議室が判りにくいという意見が散見された。案内板の設置など検討してみてはいかがだろうか。また第一日目は、全体で２時間のスケジュールだったので、トイレ休憩が欲しいという意見も聞かれた。今後検討してみると良いかもしれない。　（文責　松元 浩一）

（第二部）

これは例年評価の高い企画であるが、今回も幸い天候に恵まれ、参加者の満足度はいつも以上に高かったようである。所要時間について、もっと短い方がよいという声もあればもっと長い方がよいという声もあるが、長崎大学の貴重な史資料に出会う機会として意義深いという点では一致しているようである。今回、数日前になって片淵キャンパスと坂本キャンパスの順番を入れ替えるという事態になったが、関係教職員の協力で特に混乱なく進行した。ただ、今回のように片淵キャンパスが最後になると、文教キャンパスへの帰路が夕方の渋滞に巻き込まれ、30 分以上を要した。終了時間を超過する結果になったため、可能であれば例年同様に坂本キャンパスが最後になったほうが望ましいとはいえよう。

年度初めの超多忙なスケジュールのなかで分刻みのガイドをこなしていただいた総勢 10 数名の教職員のご厚意に深く感謝したい。　（文責　山地 弘起）